

日の出町議会議員選挙選挙公報

日の出町選挙管理委員会

外出支援 バスは土日も運行を
補聴器購入に支援制度を
児童館・子育て支援センター増設を
乱開発規制条例の制定を

医療費無料化を守ります
 5期20年 私は福祉を守り、充実させる立場をつらぬいてきました。安心して医療が受けられれば、早期発見、早期治療ができ、医療費を低く抑えることができます。安倍政権の増税、社会保障の切り捨てから町民の健康とくらしを守るため、私は日の出町の医療費無料化制度を全力で守ります。



実現できました!
 住宅リフォーム工事に町の補助
 高額な不妊治療に町が助成

憲法改悪、消費税増税の安倍政権にNO!



おりた真知子
 日本共産党

みんなで創る 誰もが安心して暮らせる日の出に!

- ◆ 少子高齢社会 医療、介護、福祉の再構築を
- ◆ 高齢者も障がい者も ともに暮らせる地域福祉の充実を
- ◆ 子育てがしやすい、のびのび育つ教育施策の推進を
- ◆ 再生可能エネルギー政策の推進を
- ◆ 商工業・林業・農業を培う施策を
- ◆ 中小企業への支援と 地域の振興の拡充を
- ◆ 非正規職員の待遇を改善し格差是正を
- ◆ 公共民間労働者の生活改善に繋がる 公契約制度の確立を
- ◆ 歴史、文化、伝統芸能などを 活かしたまちづくり

私たちも応援しています!
 立憲民主党代表 枝野 幸男 友会 会長 宗 像 長 次
 連合東京会長 岡田 啓 友会 会長 後 藤 浅 行
 自治労東京中央執行委員長 座光寺成夫 友会 会長 宇 波 利 一
 連合東京三多摩ブロック地域協議会議長 長 崎 益 治 友会 会長 杉 浦 澄 男
 立憲民主党東京25区総支部長 島 田 幸 成 友会 会長 湯 本 二 郎

問題・課題は現場に「いきなり」とどっぴり「現場第一主義」で「これから活動!!」



あおしか和男
 立憲民主党公認

プロフィール
 東京都生まれ(74歳)
 都立農林高・東京経済大学(第二部)卒業後、現西東京市役所(旧田無市役所)に就職。
 1995年(平成7年)日の出町議会議員初当選。現在6期目。

田村みさ子の基本姿勢

- 1.住民目線で財政をチェック
「立ち位置は住民」を貫きます
- 2.まちづくりに積極提案
住民の代弁者として、粘り強く取り組みます
- 3.ひとのつながりを大切に
問題解決には、行政、地域、事業者など広く連携して対応します

- *未来をつくります***
- 高齢者** マイカー運転に代わる生活の足 公共施設に手すり設置
 - 子ども** 健やかに育つ環境づくり 学びあう喜びが持てる学校 児童虐待への適切な対応
 - 家庭** 総合相談窓口の設置 家族の困難を解決 成年後見制度の取り組み
 - 生活環境** 自然災害への対策と備え 太陽光発電施設設置の基準づくり
 - 地域** ごみ減量と資源化の促進 コミュニティ活動を応援

経験と実行力で、
 まちの未来をつくります

田村みさ子 プロフィール
 1951年 世田谷区生まれ 上智大学卒
 1995年 日の出町議会議員初当選(6期)
 現総務まちづくり常任委員長
 社福)さくらぎ会理事(さくらぎ保育園、さくらぎごはん、特養こもれびの郷、介護サービスつながり) 社会福祉士
 全国自治体議員行財政自主研究会会員



たむら
田村みさ子
 無所属

明日へつなげるため「今やるべきこと」は何か? 加藤みつりの提案

- 安全・安心の町づくり**
消防団員の確保(定年制の延長・自治会ごとの団員確保) 地域の絆で災害に強い町づくりを(地域防災力の強化)
- 福祉の町づくり**
子育て・高齢者支援事業を「持続可能」な事業にするための見直しを
- 生活環境の町づくり**
狭い道路(私道を含む)の整備・改修を 残土・景観条例の整備を
- 教育・文化・スポーツ等**
老朽化した給食センターの建設促進(近隣自治体との共同も検討) ゲートボール、グランドゴルフ専用グランド設置の検討
- その他**
財源確保(地域振興費、三多野場末地区の開発等) 事務事業の見直しによる歳出削減を図り安定した財政運営の確立 明日への備えのため基金(定額積立)の推進

【経歴】 昭和22年6月27日生
 元日の出町消防団長(三多野消防団連絡協議会々長)
 平成15年8月 日の出町議会議員 初当選
 平成17年 総務文教常任委員会 委員長
 平成19年 財務厚生常任委員会 委員長
 平成21年 都市建設常任委員会 委員長
 平成23年 日の出町議会議長
 平成27年 監査委員
 平成31年 秋川流域環境組合協議会 議長
 現在に至る

みんなと共に 次世代に「守ろう」「創ろう」「つなげよう」日の出町!!

私は、四期(16年間)議員として活動する中で得た多くの知識や、貴重な経験を生かして、先人達から脈々と受け継がれてきたこの町を「守り」、次世代に向けた町を「創り」、そして将来に「つなげる」ために強い意志と情熱をもって挑戦致します。



無所属
加藤みつり

耳を傾け心に寄り添う

一期四年間、一人ひとりの声から町の課題を学び、教育環境や住みよい町づくりにチャレンジしてまいりました。これからは「耳を傾け心に寄り添う」をモットーに、町民の皆様と二人三脚で、誰もが住みやすい魅力あふれる日の出町を目指します。

- 実現しました**
- 次世代育成クーポンを一人月額1万円交付(0歳~15歳)
 - 青少年育成支援金を一人月額最高1万円支給(16歳~18歳)
 - 町内の全街路灯をLED化(2,425基)
 - 高齢者外出支援バスの導入
 - 小・中学校トイレの洋式化
- なわいきよ子のビジョン**
- マイタイムライン(一人ひとりの避難行動計画)の策定推進
 - 観光スポットの一体化で地域をさらに活性化
 - 子育て世代包括支援センター(子育てトータル・サポート拠点)の開設
 - 地域包括ケアシステムの充実(認知症対策、健康寿命の延伸策)
 - 小・中学校体育館へエアコン設置(指定避難所として機能の充実)

Facebookで
 なわいきよ子
 を検索!



プロフィール
 1973年生まれ46歳/町議一期/創価女子短期大学経営科卒業/
 ●大手都市銀行勤務6年/党西多摩総支部女性委員会副委員長/
 ●議会運営委員会副委員長/議会だより委員会委員長



公明党公認
なわいきよ子

この選挙公報は、選挙公報の発行に関する条例第四条第一項の規定により候補者から提出された原稿をそのまま写真製版のうえ掲載したものです。